

東京都知事

小池百合子様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の
早期事業化について（要望）

平成31年1月31日

瑞穂町
瑞穂町議会

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の 早期事業化について（要望）

大寒の節、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、瑞穂町の行政運営につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

瑞穂町では殿ヶ谷、箱根ヶ崎駅西の2地区の土地区画整理事業等による商工業・居住施設の誘導とともに、新青梅街道拡幅再整備事業に伴う沿道の都市計画の変更と地区計画の決定、さやま花多来里の郷をはじめとした観光施策の充実などにより、定住及び交流人口の増加を図っています。今後は更に交通需要の増加が見込まれることから、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現につながるものと考えています。

さて、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸は「事業化に向けて検討すべき6路線」の一つに位置付けられ、現在、東京都、地元自治体及び事業者により、検討の深度化が図られています。一方、町では平成29年度に多摩都市モノレール基金を創設し、平成30年度も1億円の積立てを予定しています。また、東大和市、武蔵村山市と合同で「モノレール沿線まちづくり構想」を策定するなど、延伸に向けた準備を着々と進めています。

また、今年度、町民に対して行った、公共交通に関する意向調査結果でも、多摩都市モノレールの早期延伸を望む声が圧倒的に多く、町民は大きな期待を寄せています。

多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸は、多摩地域の軌道系交通ネットワークが充実し、多摩地域の発展に大きく寄与するものと確信しています。また、交通利便性が格段に向上することにより、新たな人の交流を生むとともに、環境負荷の低減にもつながります。

このことから、早期事業化について、引き続き強力に推進されることを要望いたします。

平成 3 1 年 1 月 3 1 日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 杉 浦 裕 之

瑞穂町議会

議 長 小 山 典 男

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委 員 長 山 崎 栄